

プラン名称:タイのみなさん安心して下さい。大分のフードと風土を觀せますよ!

チーム名	Ms.ピーンズ	対象地域	大分ステージ
大学名	県立広島大学	テーマ	□A) 若者を惹き付ける大分の魅力を活かした「観光まちづくり」 □B) タイの国の人を惹き付ける大分の魅力を活かした「観光まちづくり」
リーダー名	藪崎 愛莉		
指導教員名	和田 崇		
メンバー名	上原夏樹・川西千春・見影大地・宮川紗代・持田沙紀		

【本選出場】
ツーリズムおおいた会長賞
パフォーマンス賞 受賞

1. 問題意識

宿泊した市町村 (複数回答)

平成26年度大分県観光実態調査報告書より作成

- 外国人を含めた大分の観光客の多くが別府・湯布院へ
- 別府・湯布院の次はどこへ行けばいいのかわからない
- 他の資源の知名度の低さ、観光に活用しきれていない

2. 解決策

- 別府・湯布院以外のエリア「宇佐・国東半島エリア」に注目
- 健康・信頼・安心の資源がいっぱい!
- 国東半島宇佐地域は「世界農業遺産」
- 安心院は「全国の農家民宿の発祥地」
- 農家に民泊する(「農泊」)

タイの訪日客数

JNTO『タイの基礎データ』より作成

タイ人の健康意識

経済産業省「アジアトレンドマップ 意識調査2010年」より作成

3. コンセプト

「3つの楽しみ方を通して健康・信頼を創り出し、安心を提供する」

タイのみなさん、安心して下さい!

味わう (フード) | 触れ合う (ひと文化) | 癒す (自然)

スローフード(風土)の体験

4. スローフード(風土)の体験~3つの楽しみ方~

- 味わう (フード)**
 - 農家の野菜: 農家で採れた新鮮な野菜を食す→健康, 農業に携わることで、食べ物が自分の口に入るまでの工程を知る→信頼
 - 乾燥椎茸: 日本一の生産量を誇る無農薬の大分産乾燥椎茸を採り、食す→健康・信頼
 - すっばん、薬膳料理: 安心院特産のすっばんを食す→健康, 国東にある自家栽培の素材を使った薬膳料理を食す→健康・信頼
 - 郷土料理: 農家での料理体験を通じて大分の郷土料理や日本食を学ぶ→健康・信頼
- 触れ合う (ひと文化)**
 - 農家民泊、農業・漁業体験、伝統工芸: 自然や人とのふれあいを楽しむ+体を動かす→健康・信頼, 七島島など、地元の人に教えてもらいながら工芸体験→信頼
- 癒す (自然)**
 - 滝、紅葉、桜、夕日、星空、トレッキング、サイクリング、温泉: 東椎屋の滝や、耶馬溪の紅葉など、日本の風景を感じながら歩く→健康, ロングトレイルで体を動かし自然を感じる→健康, 温泉に浸かってリラックス→健康

5. ツアーの例(2種類のコース)

〈安心院コース 夏Ver.〉		〈国東コース 春Ver.〉	
1日目	16:00 農家着 竹細工体験、温泉	1日目	16:00 農家着 薪割り、窯で炊飯
	19:00 夕食		18:00 温泉
	22:00 星空、鹿観察		19:00 夕食
2日目	8:00 朝食	2日目	22:00 星空観察
	9:00 トマト・ナスの収穫、 人参・大根種まき		8:00 朝食
	11:30 農家出発		9:00 トマト・ジャガイモの収穫、 草むしり作業
	12:00 すっばん料理		12:30 農家出発
	13:00 東椎屋の滝		11:30 農家出発
	15:00 葡萄酒工房		12:30 薬膳料理 (in 富来茶屋)
	17:00 農家着 温泉		13:30 椎茸収穫、購入 (椎茸農業組合同国東支部)
	19:00 夕食		15:00 トレッキング(ショートコース)
	21:00 花火、虫観察		20:00 農家着 温泉、夕食、団らん
3日目	8:00 朝食	3日目	8:00 朝食
	10:00 農家出発		10:00 農家出発

6. プランの新規性

- ①fastからslowの商品化へ
→交流で人と人の繋がりが
- ②「見える化」で近づく心の距離
→見えないもの(生産者、生産過程)をツアーによって見える化
住む場所の距離は遠いが、心の距離は近くなる!
- ③継続的交流
→「特産品の発送」でリピーターにつなげる!

住まい 遠 | 心 近

生産者 | 消費者

7. 実現計画

- 推進体制
 - 企画・催行: 訪日外国人向け旅行代理店 (例)・サンライズツアーズ・みちトラベルジャパン・九州ツーリスト
 - 受入: 安心院町グリーンツーリズム研究会、国東市くみにグリーンツーリズム研究会、大分県椎茸農業協同組合
 - 広報: 大分県庁地域振興課、九州観光推進機構、ツーリズム大分、タイ人の有名なSNSユーザー、タイの旅行雑誌
- プロモーション
 - 第1次: 大分県庁地域振興課、九州観光推進機構、ツーリズム大分
 - 第2次: タイの旅行雑誌、テレビ、タイの有名なSNSユーザー
- リピート: 会員登録制、特産品発送

Google Survey June2011 Reportより

8. 効果

- 精神的効果
 - 受け入れ家庭の増加・農家の取り組み意識の向上
 - ↓
 - 大分県全体のGT研究会へ取り組みの広がり
 - ↓
 - 大分県民の健康意識の向上
 - ・異文化理解の深まり、積極的な交流
 - ・外国人の健康意識の高まり
- 社会的効果
 - ・外国人と交流をしながら農業や農泊を行うという観光形態の確立
 - 農業を通じた国際交流に興味を持つ日本の若者が移住してくる可能性
 - 農家の後継者へ
 - ・外国人は日本に遠い親戚のような存在ができる→親近感
- 経済的効果
 - 年間約3000万円
 - ツアー代金
 - 1ヵ月10組(1組4人) × 2(安心院・国東) × 1年 = 年間960人
 - 16,000円(2泊の宿泊費+体験料) × 960人 = 15,360,000円
 - ・関連支出
 - 5,000円(一人一日当たりの食費・お土産代・交通費) × 3日間 × 960人 = 14,400,000円